

---

■ さろん | Mail News 2018/3/1 | #110 ■ 【イベント号】

ご案内不要の方はお手数ですがこのメールにそのままご返信ください。

---

哲学カフェ及び関連イベント情報をお送りします。みなさんの興味・関心の一助としていただくとともに、今後とも「さろん」を応援いただければ幸いです。

なお、このメールニュース掲載のコラム等は執筆者の個人的な考えを表したものです。会や専門領域における統一見解や事象を扱っているものではありません。予めご了承ください。

---

---

====Vol.110 2018年3月1日(木)====

さ | ろ | ん |

— | — | — |

M | a | i | l | N | e | w | s |

— | — | — | — | — | — | — |

<http://salon-public.com/>

(バックナンバーはHPからご覧いただけます)

<https://twitter.com/salontetsugaku>

<https://www.facebook.com/salontetsugaku/>

---

---

INDEX

- | 【1】 予約受付中：3/17 さろん哲学 第91回 テーマ：「絶滅危惧種にどう対応すべきか？」
  - | 【2】 予約受付中：3/4 朝さろん 〈78〉『侍女の物語』 / 〈限局性激痛〉
  - | 予約受付中：4/8 " 〈79〉『(リクエスト受付中)』 / 〈リクエスト特集〉
  - | 【3】 予約受付中：4/14 さろん・序 #03 「愛すること(再)」
  - | 【4】 開催の報告：2/17 さろん哲学 第90回 テーマ：「誠実さ」
  - | 【お知らせ】 さろんラボ 企画を募集中です♪
  - | 【5】 関連イベント情報
  - | 編集後記
- 

---

CONTENTS

---

---

【1】 さろん哲学

第91回 テーマ：「絶滅危惧種にどう対応すべきか？」

---

第91 さろん哲学を下記のテーマで開催します。

日 時：2018年3月17日（土）15:00-17:00

テーマ：「絶滅危惧種にどう対応すべきか？」

進 行：堀越

会 場：銀座ルノアール 新宿3丁目ビッグスビル店6号室

<https://www.ginza-renoir.co.jp/shopsearch/shops/view/103>

参加費：1,200円/人

定 員：16名程度

▽司会から：

絶滅が危惧される生物種は年々この地球上から姿を消している。このような現状に人類はどう対応すべきか。保護か、静観か。パンダのシャンシャンが耳目を集める中、考えてみたい。

ご予約・ご質問はこちら⇒ [salontetsugaku@gmail.com](mailto:salontetsugaku@gmail.com)

詳細はこちらをご覧ください。

<http://salon-public.com/tetsugaku/>

<https://twitter.com/salontetsugaku>

- 会場は前回と異なりますので、ご注意ください。
- 携帯からメールを送信される場合、お返事のメールが受信できるよう、迷惑メール設定を適切にご変更願います。
- さろん哲学は原則【毎月第3土曜】に開催しています
- さろんのイベントに参加申し込みをされた方には、もれなく毎月メールニュースが配信されます。ご不要の方はさろんのHP <http://salon-public.com/> の末尾のフォームに、その旨ご記入願います

---

## ——【2】朝さろん／夜さろん——

朝さろん 〈78〉『侍女の物語』マーガレット・アトウッド/〈限局性激痛〉

〃 〈79〉『(リクエスト受付中)』/〈本棚拝見 (リクエスト特集)〉

---

先月朝さろん『東京プリズン』には10名の方にご参加いただき、主人公マリの孤独や母との関係などをじっくりと掘り下げながら対話しました。今月は〈限局性激痛〉と題したシーズンの完結編です。

来月からは〈リクエストシーズン〉です。みなさんに御推薦の本を寄せていただき、毎月1冊ずつみんなで読みます。気になる本のある方、ぜひお気軽に御推薦をお願いします。

これまでの開催内容はHP「朝さろんの本棚」から閲覧できます。

<http://salon-public.com/archives/category/033>

【朝さろん】

◆朝さろん 78th morning

『侍女の物語』 マーガレット・アトウッド／〈限局性激痛〉

日 時：2018年3月4日(日)9:05-12:00

参加費：1500円程度（ワンドリンク、室料、運営費、資料代込み）

場 所：渋谷周辺の会議室利用予定（ご予約時にご案内）

本 　：『侍女の物語』 マーガレット・アトウッド(ハヤカワ epi 文庫)

内 容：

- ・”限局性激痛”——それは身体部位（胸の奥）を襲う限局性の激しく鋭い痛み、苦しみ。
- ・あらすじ 『ギレアデ共和国の侍女オブフレッド。彼女の役目はただひとつ、配属先の邸宅の主である司令官の子を産むことだ。しかし彼女は夫と幼い娘と暮らしていた時代、仕事や財産を持っていた昔を忘れることができない。監視と処刑の恐怖に怯えながら逃亡の道を探る彼女の生活に、ある日希望の光がさしこむが……。自由を奪われた近未来社会でもがく人々を描く、痛烈な問題作。』

◆朝さろん 79th morning

『(リクエスト受付中)』 - / 〈本棚拝見(リクエスト特集)〉

日 時：2018年4月8日(日)9:05-12:00

参加費：1500円程度（ワンドリンク、室料、運営費、資料代込み）

場 所：渋谷周辺の会議室利用予定（ご予約時にご案内）

本 　：『(リクエスト受付中)』

内 容：

- ・4月からはリクエストシーズンです。
- ・取り上げる本は参加者からのリクエストで決定します。絶賛募集中です♪  
ぜひお気軽のお寄せください。

ご予約受け付け中です； [salontetsugaku@gmail.com](mailto:salontetsugaku@gmail.com) （担当：芹沢）

過去の開催内容を HP に掲載しています。

◇朝さろんの本棚 <http://salon-public.com/archives/category/033>

◇夜さろんの本棚 <http://salon-public.com/archives/category/034>

【開催概要】

《朝さろん》第2週の日曜 AM に開催（場合によって開催週変更の場合あり）

《夜さろん》不定期開催

---

—— 【3】 さろん・序

さろん・序 #03 「愛するということ(再)」

---

アンコールの声に応え、再び開催します。この機会に名著を読んでみては如何でしょう。  
課題書籍を読んで、疑問に思う箇所等から問い出しを行ない、哲学対話をします。

日 時：2018年 4月 14日(土) 15:00~17:30

テーマ：エーリヒ・フロム著「愛するということ」(第2章と第4章を中心に)

担 当：堀越

場 所：都内のカフェ (お申込み頂いた方にご連絡します)

参加費：飲食費実費+100 円/人

定 員：5~6名程度

お申込み・お問合わせはこちらまで； [salontetsugaku@gmail.com](mailto:salontetsugaku@gmail.com) (担当：堀越)

<http://salon-public.com/>

---

#### 【4】さろん哲学

第90回 テーマ：「誠実さ」

---

前回さろん哲学を下記のテーマで開催しました。

日 時：2018年 2月 17日 (土) 15:00-17:00

テーマ：「誠実さ」

進 行：野田

会 場：カフェ・ミヤマ 渋谷公園通り店1号室

参加者：15名

進行から：他者へ/からの評価としての誠実さと自分に対する誠実さについて対話をした。

御感想などありましたらお寄せください； [salontetsugaku@gmail.com](mailto:salontetsugaku@gmail.com)

近日中にHPに議事録を公開します。

詳細はこちらからご覧ください。

<http://salon-public.com/archives/category/023>

---

#### 【おしらせ】

さろんラボ 企画を募集中です♪

---

名称：【さろんラボ】

コーディネーター：【大村】

さろんでは「さろんラボ」を常設しています。

このさろんラボではみなさんの「やってみたい」を核に、「さろん」を触媒にして、どんな化学変化

が起きるかを試みる場所です。

「さろんラボ」からは、さろんの参加者の手で、以下の2つのイベントがうまれました。

■001 「あたまの中を散歩するてつがくカフェ」

<http://sanpo-tetsugaku.jimdo.com/>

■002 「哲学カフェ Ante-table/アンティ・テーブル」

<http://ante-table.wix.com/ante-table>

既存の哲学カフェのカタチに限定せず、みなさんの中で温まっている関心ごとやご興味を添えてお気軽に下記までご連絡下さい。みなさんとの新しい化学変化を、スタッフ一同心から楽しみにしています。

▽詳細はこちらまで [salontetsugaku@gmail.com](mailto:salontetsugaku@gmail.com) (担当：大村)

---

【5】関連イベント情報

哲学カフェ関連イベントやおもしろスポット、その他おすすめ情報をご紹介します

---

From さろんラボ：001

〔あたまの中を散歩するてつがくカフェ〕第31回

ひとりひとりの言葉をじっくりときき、ゆっくりと考えることを大切に活動しているてつがくカフェです。

東京と愛知の両方で開催していますので、参加を検討いただく際には会場のご確認をお願いいたします。

みなさんのご参加をお待ちしています。

日 時：2018年3月18日（日）10:00～12:00

テーマ：法律で禁止されたらやめられますか？

会 場：東京都内のカフェ（新宿を予定しています）

定 員：6名程度

参加費：無料

運営・進行：くらち

※参加には事前の申し込みが必要です

※ご都合にあわせて途中参加や途中退出をしていただいてもかまいません

※当日の詳細は参加申し込みいただいた方へご連絡します

※参加費は無料ですが、会場での飲食代実費は各自ご負担ください

※参加申し込みはウェブサイト内の「申し込みと問い合わせ」フォームから、もしくは [sanpo.tetsugaku@gmail.com](mailto:sanpo.tetsugaku@gmail.com) までご連絡ください(Gmailが受信できる設定をお願いいたします)

ウェブサイト：<http://sanpo-tetsugaku.jimdo.com/>  
ツイッター：[https://twitter.com/sanpo\\_tetsugaku/](https://twitter.com/sanpo_tetsugaku/)  
お申込み・ご質問：[sanpo.tetsugaku@gmail.com](mailto:sanpo.tetsugaku@gmail.com) (くらち)

-----  
From さろんラボ：002

[哲学カフェ Ante-table/アンティ-テーブル] 第15回

テーマ：『美しさ』は希少か、あるいは全ては世界は『美しい』か？

日時： 2018年03月10日(土) 14:00~16:00

費用： 1000円程度(ワンオーダー制)

人数： 最大8名程度を予定

会場：『ギャラリー冊(サツ)』併設カフェ

(九段下駅2番出口より徒歩10分。詳細は下記URL)

[http://www.satsu.jp/?page\\_id=9](http://www.satsu.jp/?page_id=9)

哲学カフェ Ante-table/アンティ-テーブル

HP：<http://ante-table.wix.com/ante-table>

email：[cafe.ante.table@gmail.com](mailto:cafe.ante.table@gmail.com)

-----  
(一覧になっているもの)

▽首都圏哲学関連イベントまとめサイト

<http://tokyotetsugakumatome.g.hatena.ne.jp/>

▽もっと自由に「てつがく」したい！対話がメインな東京の哲学カフェまとめ

<http://matome.naver.jp/odai/2136167936080093501>

▽全国各地の哲学カフェ

<http://matome.naver.jp/odai/2138543414370880601>

▽哲学カフェ一覧

<http://www.135.jp/lite/>

▽東京で行われている読書会まとめ

<http://matome.naver.jp/odai/2135489489421994201>

-----  
▽3/9-25 再邂逅する科学と美術の試み, 2018 東京

・第1回 Kavli IPMU アーティスト・イン・レジデンスプログラム参加作家展  
<http://www.ipmu.jp/ja/2018AIRExhibition>  
会期：2018年3月9日(金)-3月25日(日)  
開室時間：12:00-18:00(火-木), 11:00-20:00(金土日・祝) ※月曜休室  
会場：カマタ\_ソーコ (東京都大田区萩中3丁目22-7,京急大鳥居駅徒歩5分)  
料金：無料  
主催：東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構 (Kavli IPMU)  
協力：@カマタ  
助成：日本学術振興会 (JSPS)  
問合せ：東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構 広報  
E-mail：[koukai-kouza@ipmu.jp](mailto:koukai-kouza@ipmu.jp)

▽3/25 【意見交換会】対話と政治 ～「対話と圧力」の政治をめぐって～  
2018年3月25日(日)13時～  
会場：新宿区立消費生活センター分館会議室 (高田馬場創業支援センター併設)  
<https://consu.shinjuku-center.jp>  
参加費：100円 (会場代)  
事前申込み：<http://kokucheese.com/event/index/508020/>  
呼び掛け人；  
佐野佳子 (対話の実験室@公差転 <http://kosaten.org/ja/taiwa/>)  
しばたはる (波止場てつがくカフェ <http://www.hatoba-de-dialogue.net/>)  
寺田俊郎 (カフェフィロ <http://cafephilo.jp/>)  
こども哲学おとな哲学アーダコーダ <http://ardacoda.com/>)  
八尾浩幸 (デモクラシー・カフェ@東村山  
[http://blog.livedoor.jp/pieru80-democracafe\\_higashimurayama/](http://blog.livedoor.jp/pieru80-democracafe_higashimurayama/))

▽3/22 松井剛×嶋浩一郎「世界を動かす『社会記号』」  
『欲望する「ことば」』(集英社)刊行記念  
20:00-22:00 会場：B&B  
<http://ptix.at/yHEHZS>

▽4/8 第19回 東京メタ哲学カフェ  
「よく聴く」とよく話す”のエクササイズ ～哲学カフェの対話とナラティブ～」(仮)  
キックオフトーク：芹沢幸雄 (さろん)  
<https://mgasamihonma.wixsite.com/tokyometa>  
<https://www.facebook.com/tokyometa/>

▽4/14 「脳科学の倫理を考える対話セッション」：  
脳科学技術が変えるリハビリ～2040年、いかに老いるべきか？」  
日本医療研究開発機構 脳科学研究戦略推進プログラム (生命倫理)  
市民対話企画 Vol. 1  
日時：2018年4月14日(土) 13:00-17:00

会場：東京大学本郷キャンパス医学部3号館1階 N101

定員：40名（参加無料・要登録）

[http://cbel.jp/?page\\_id=1475](http://cbel.jp/?page_id=1475)

▽4/21（土）12:30～ホップズ『リヴァイアサン』読書会（前半）

「ソクラテスと亀」共催イベント

12:30・14:30 会場：双子のライオン堂書店

<http://ptix.at/ZyDMNu>

第1回 4/21（土）12:30～ 『リヴァイアサン』前半

第2回 5/26（土）12:30～ 『リヴァイアサン』後半

第3回 6/23（土）12:30～ 『統治二論』

第4回 7/28（土）12:30～ 『社会契約論』

第5回 9/29（土）12:30～ 『法の本質』

▽4/22 慶應sdm ウェルビーイングリサーチラボ

「幸福学・夫婦編」第1講（全6回）

慶應義塾大学 日吉キャンパス

<https://www.facebook.com/events/945359945647265/>

▽『ソクラテック・ダイアログ 対話の哲学に向けて』（シリーズ臨床哲学4）大阪大学出版会

<http://www.osaka-up.or.jp/books/ISBN978-4-87259-604-5.html>

▽読書猿（『問題解決大全』）×原田まりる（『まいにち哲学』）対談

<https://www.bunkanews.jp/news/news.php?id=18117>

▽現代音楽家・坂本龍一が挑む新しい音楽のかたち

Ryuichi Sakamoto with Shiro Takatani : Is Your Time

<https://www.tjapan.jp/ART/ryuichi-sakamoto-17>

▽「観光経験の現象学」エリック・コーヘン

5つのモード〈レクリエーション、気晴らし、経験、体験、実存〉

<https://ci.nii.ac.jp/els/contents110000474986.pdf?id=ART0000859721>

▽『なぜと問うのはなぜだろう』吉田夏彦（ちくまプリマー新書）

<https://www.amazon.co.jp/dp/4480689907/>

▽『子どもたちの未来を拓く探究の対話「p4c」』p4cみやぎ・出版企画委員会、東京書籍

<https://www.amazon.co.jp/dp/448781071X/>

▽『哲学がわかる 因果性』スティーヴン・マンフォード、ラニ・リル・アンユム、岩波書店

<https://www.amazon.co.jp/dp/4000612417/>

▽哲学プラクティス連絡会

<http://philosophicalpractice.jp/>

▽カフェフィロ

<http://www.cafephilo.jp/>

▽Core Talk Cafe おとなのためのてつがくカフェ

<http://www.coretalkcafe.jp/index.html>

▽てつがくカフェ@せんだい

<http://tetsugaku.masa-mune.jp/>

▽てつがくカフェ「医療とケアを問い直す」

<http://sinemasamune.blog.fc2.com/>

▽NPO 法人こども哲学おとな哲学アーダコーダ

<http://ardacoda.com/>

▽人生カフェ

詳細：詳しくは「人生カフェ」で検索を。

<http://tokyojinseigakuin.cocolog-nifty.com/blog/>

▽ねりまの哲学対話“ねりテツ”

<http://msentalife.wixsite.com/entalife>

\*『わわわの話』\*

<http://msentalife.wixsite.com/entalife/blank-12>

▽竹林茶話会 哲学Cafe@柏

<https://www.facebook.com/chikurinsawakai/>

▽はなこ哲学カフェいどばたのいどほり

<https://www.facebook.com/hanakophilosophycafe/>

▽対話の実験室@公-差-転

<http://kosaten.org/taiwa/>

▽対話カフェ Tokyo～Yokohama

<https://taiwa-cafe.jimdo.com/>

▽デモクラシーCafe@東村山

[http://blog.livedoor.jp/pieru80-democracafe\\_higashimurayama/](http://blog.livedoor.jp/pieru80-democracafe_higashimurayama/)

▽読書と対話の会

<http://love.link/pg47.html>

▽クルミドの朝モヤ

<http://ameblo.jp/kurumed/>

▽小金井哲学カフェ

<http://koganei-philosophycafe.blogspot.jp/>

▽高千穂大学哲学研究会パイディア

<https://paideiatakachihophilosophy.wordpress.com/>

▽UTCP (東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属「共生のための国際哲学研究センター」)

<http://utcp.c.u-tokyo.ac.jp/>

▽P4C-japan

<http://p4c-japan.com/>

▽クラリスブックスの読書会 | 東京下北沢の古本屋

<http://blog.clarisbooks.com/2014/07/15/2696>

▽読書会ガイブンキョウク

<https://twitter.com/gaibunkyoku>

▽京都・大阪市民読書会

<http://kyotobookclub.blog.fc2.com/>

▽原稿の推敲・校正・リライトを支援する3つの文章チェックツールを作りました！

<http://tokimaki.hatenablog.com/entry/2016/10/23/160512>

▽リフレクション・ポータル

<http://reflectionportal.com/>

▽『作家、学者、哲学者は世界を旅する』 ミシェル・セール

<http://www.amazon.co.jp/dp/480100198X/>

▽『あなたの知らない脳——意識は傍観者である』 デイヴィッド・イーグルマン

<http://www.amazon.co.jp/dp/415050475X/>

▽『幸福はなぜ哲学の問題になるのか』 青山拓央

<http://www.amazon.co.jp/dp/4778315359/>

▽『中動態の世界 意志と責任の考古学』 國分功一郎  
<http://www.igaku-shoin.co.jp/bookDetail.do?book=87748>

▽『社会にとって趣味とは何か』 北田暁大・解体研 [編著]  
<http://web.kawade.co.jp/bungei/1262/>

▽マインドフルネス瞑想  
ティク・ナット・ハン『愛する』  
<http://web.kawade.co.jp/bungei/1325/>

▽ヨコハマ読書倶楽部  
<http://yokohama-dokusho.jimdo.com/about-us/>

▽本の場所 (表参道)  
著者自身による小説の朗読会  
<http://www.honnobasyo.com/>

---

## 編集後記

メールニュース第 110 号をお届けします。

ホロッホーウ。

春の嵐が心配されてましたが、関東は思いのほか平静な朝でしたね。  
すっきりと青く澄み渡った空なので、今夜の満月が綺麗に見えそうです。

主要企業の会社説明会がきょう 1 日から解禁で、就職活動もいよいよ本格化。  
「働き方改革」が言われていますが、仕事の将来はどんな風になっていく (変わらない?) んでしょうか。

去年は『LIFE SHIFT』(リンダ・グラットン) も話題になりましたね。

ひとつの仕事にこだわらないマルチステージの人生設計で、人生 100 年時代を長く、自分らしく活躍していく。

エクスプローラー (探索者)、ポートフォリオワーカー (様々な職業を持つ者)、インディペンデントプロデューサー (大なり小なり独自にビジネスを行う者) というモデルも参照しながら、外的な有形資産と内的な無形資産をバランスよく補充していこうという内容でした。

そしてそのためには色々なフェーズでの学び直しが必要だと。

では”自分らしい” 学び直しや働き片っていったいどういうもの何でしょうか。

澁刺と働くためにも、自分の強みや傾向をしっかり把握するのがはじめの一步かもしれませんね。

(…就活の頃をつい回顧しちゃいました。)

今月のメールニュースのインデックスを見てお気づきかもしれませんが、「さろん・序」がひさしぶりに開催となっています。再演となっていますが、前回は非常に盛り上がったようなので、身近に感じている「愛」についての楽しくも深い学び直しの時間となると思います。

打って変わって今月の例会は「絶滅危惧種にどう対応すべきか?」。

「動物の権利（動物への倫理）」が話題になることが多い昨今ですが、人間中心主義を見つめ直すことではじめて開かれる多様性というものもあるのではないのでしょうか。

先月の例会テーマ「誠実さ」ではないですが、“誰のための”” 何に対する” 誠実さが問題とされているのか。いろいろなテーマを通して考える機会になればと思います。ホウ。

朝さろんは読者の皆さんから推薦書をお待ちしています。

特に4月の回はまだなにも決まっていないので、ぜひお気軽にご推薦くださいませ。

「さろん工房」「あるばか学校」は今月の催事やお知らせが特にないので紙幅短縮のために割愛しました。ご案内やイベントがある月には随時掲載します。

この時期なにかと慌ただしかったり、先が読めなかったり、花粉症だったりだと思いますが、楽しい学び直しのお時間としてさろんイベントをぜひ役立ててくださいね。ホロッホーウ。

それではまた次号でお会いしましょう。ホウ。

編集: (フクロウ)

さろん | Mail News 2018/3/1

⇒次号 (3月15日発行予定)

---

さろん Mail News 第110号 / 2018年3月1日発行【イベント号】

編集・発行: さろん

salontetsugaku@gmail.com

<http://salon-public.com/>

<https://twitter.com/salontetsugaku/>

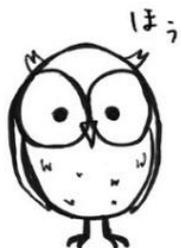
<https://www.facebook.com/salontetsugaku/>

- 
- ◇ 「さろん」にお知らせいただいたお名前・メールアドレスなどの個人情報は、当会からのご案内のためだけに使用いたします。  
また、ご本人の同意なく第三者への提供はいたしません。
  - ◇ 「Mail News」の無断転載はご遠慮ください。転載ご希望の場合はご連絡願います。  
バックナンバーはHPからご覧いただけます。
  - ◇ 【Twitter】 <https://twitter.com/salontetsugaku>
  - ◇ 【Facebook】 <https://www.facebook.com/salontetsugaku/>
  - ◇ 【ホームページ】 <http://salon-public.com/>  
「さろん哲学」Web サイト <http://salon-public.com/tetsugaku/>

「朝さろん」 Web サイト <http://salon-public.com/asa/>

「さろん工房」 Web サイト <http://salon-public.com/koubou/>

「あるぱか学校」 blog <http://alpacagakou.blog.fc2.com/>



"copyright (c) 2011-2018 さろん. All rights reserved."

---